

第1回オンライン講演会実施報告

講演名	: 『With コロナの時代を生きるコミュニケーション』
サブタイトル	: ～RE スタート～
講師	: 森川 あやこ 氏
実施日	: 令和4年11月20日(日) 14:00～16:00
参加者	: 58回線+8名(役員・理事・委員会メンバー含む)
実施形式	: Zoom 配信

講演内容

1、コロナ禍のPTA活動、活動再開へのチームビルディング

◎これまでのようには対面では

『集まらない』、『会いにくい』時代だからこそ、

『～ない』、『～にくい』を 『ある』、『～やすい』、ものを活用しよう！

◎オンラインツール・メール・チャットなど・・・

便利なツールを上手に使うって、離れた相手との時間を大切にしながら、コミュニケーションをとれるようになった。が、直接会いたい・苦手・使いにくいなど不便を感じる方もいる。このような人たちにも配慮して声をかける必要もある。様々な価値観の人にも配慮していく。

◎チームビルディングとは・・・

相手の価値観や考え方を想像し、関わり合うことができるか！

コミュニケーション力が重要。

2、人と人とのつながり RE スタート、コミュニケーション復活へのヒント

◎コロナ禍の問題点

- ① 表情・感情がわかりにくい、見えない(マスク着用)
- ② 声が聞き取りにくい、話しづらい(マスク着用)
- ③ 雑談や隙間時間で情報共有・交換しづらい(オンラインツール)
- ④ 相手の環境・状況・事情が把握しにくい(オンラインツール)
- ⑤ 会話の間、空気を読んだ返答や反応がしづらい(オンラインツール)
- ⑥ オンラインは苦手・居心地が悪い

◎解決策は・・・

『相手を想う言葉を選ぶ』

認め合う！雰囲気作り。『不』を取る対応を・・・

不安・不便・不満・不信・不平 を解消していく

⇒安心・便利・快適・満足・信頼・平和 へ

3、コロナとの共生、親としての考え方改革

◎ひとりひとりの力を高めよう！

①表情が見えにくい世の中なのでより意識する

②思い込みを捨て、『思いやり』を持ち合う

③役割や立場にこだわらないで、誰もが誰もの代わりになれる連携を！

◎対面でもオンラインでも、笑顔・感謝を忘れずに！

「いかにありがたいの気持ちを伝えることができるか」

◎表情・聞き方・頷き、声に注意。

これまで以上に発生を意識する。思いやり・寄り添う気持ちを工夫する

◎言われてうれしい♥こころをつかむフレーズを！

T： 助かった

O： おかげさまで

A： ありがとう ⇒日常的に相手にプレゼントしよう！

◎否定せずに聴くときの相づち・リアクション

T： 確かに

S： そうですね。 ⇒同意・共感・納得を示し伝える！

◎文章などで連絡する場合に関して特に注意が必要！

人間関係のトラブルは、受け取り方と受け止め方の違いによって生まれる。

◎『伝える』ことと『伝わる』ことは違う

一つの指示でも受け取り方が異なる。伝える側の指示の内容・表現を工夫する。

相手の心に同じものをいかにイメージさせながら伝えることができるか。

⇒会長・委員長など『長』の付く人が話しやすい環境を作ってあげることが大事。

◎活動時の依頼の仕方は、基本は「？」

言葉の使い方に気を配る。押しつけだと相手が不満に・・・

『月曜日までに資料の準備かのでしょうか？』など

・考えは明確に示す

・不明点は確認し、判断の参考に

・相手の事情は「？」で確認する

・相手が受け取りやすくなる工夫を

◎人間関係NGな接し方

相手を認めない接し方はNG。

上から・比べる・揚げ足をとる・否定はポジティブな表現に変える。

◎出来れば避けたい！言葉の使い方

否定・説教・軽視

・考えすぎじゃない？

・たいしたことはない。そんなに深刻ではない

・自分の時はもっと大変だった。そう考えているのはあなただけ など

◎無理です！やりたくない！という人には・・・

説得から納得へ

一方的・押しつけでは、なかなか相手は動いてくれない。本音を聞ける関係を築き・共感し・一緒に解決策を考える。

相手を認めない接し方はNG。

上から・比べる・揚げ足をとる・否定はポジティブな表現に変える。

◎相手に合わせた言葉を伝える

『愛される対話型』の伝え方と『想像力を高める伝え方』を意識し、心がけていくと納得できる（心を動かす）言葉に代わる。

⇒苦手を苦手のままにするのではなく、少しずつ出来ることからチャレンジする姿勢を見せる何か1つ行動を始めることが第一歩。

4、まとめ

お互いに協力し、連携していこう！

子どもたちも環境変化に努力しながら対応している。子どもも保護者もなかなか完璧にはいかない。～成長・進化できる喜びがある～